校訓　『実践力』

天の川辺（あまのかわべ）

双葉中学校通信
No.8（2026. 11.4 発行）
〔文責：億田明彦〕

教育目標　「天の時　地の利　人の和」　～ 時をいかし　強みをいかし　人をいかす　双葉中 ～
目指す生徒像　・自ら考え、主体的に行動する生徒　・自分や仲間の強みを認識し、伸ばす生徒
・人権を尊重し、共によりよく生きようとする生徒

「合唱」と「合笑」～歌声と笑顔でつながった仲間の絆～



（優秀賞：3年Ｂ組の合唱）

10月21日（水）、双葉総合体育館において、令和8年度双葉中学校合唱コンクールを開催しました。私は、今年の合唱コンクールでは、「合唱」と「合笑」を大切してほしいと、開会の挨拶で伝えました。「合唱」は、仲間と声を合わせ、心を一つにして歌うこと。そして「合笑」＝（造語）は、仲間と心を一つにして笑顔を分かち合い、ともに喜び合うことです。

当日は、どの学年・学級も全力を尽くし、これまでの練習の成果を存分に発揮しました。体育館いっぱいに響き渡る歌声は、全ての学級が素晴らしく、とてもレベルの高い合唱コンクールとなりました。真剣な表情で指揮者を見つめ、仲間の声を聴きながら、心を込めて歌う生徒たちの姿に、会場は大きな感動を覚えました。

審査の結果、各学年の優秀賞には、1年D組、2年B組、3年B組が輝きました。受賞した学級の皆さん、おめでとうございます。しかし、今回の合唱コンクールで何よりも大切なものは、優秀賞の結果だけではありません。

10月1日（木）から始まった約3週間の取組の過程では、最初から歌声がそろっていたわけではないでしょう。思うように練習が進まなかったり、意見が食い違ったりすることもあったと思います。それでも、互いに声を掛け合い、励まし合い、時には悩みながら、一つの合唱をつくりあげてきました。

合唱は、一人の力では奏でられません。自分の声を大切にするとともに、仲間の声に耳を傾け、互いのよさを認め合うことで、美しいハーモニーが生まれます。そして、その過程で生まれる笑顔や達成感こそが「合笑」につながると思います。

コンクールである以上、順位はつくものです。しかし、勝ち負け以上に大切なことは、仲間とともに一つの目標に向かって努力したこと、互いを認め合い、支え合ったこと、そして、やり遂げた喜びを分かち合えたことです。どの学級にも、それぞれの素晴らしいドラマがあり、確かな成長があったはずです。これからも、仲間の声に耳を傾け、互いの強みを生かし、笑顔あふれる学級、双葉中学校をつくっていってほしいと願っています。ともに努力した日々と、仲間と分かち合った笑顔は、いつまでも心に残ります。

最後になりましたが、ご参観いただきました保護者の皆様、子どもたちへの温かい拍手と、熱いまなざしをありがとうございました。



（優秀賞
2年Ｂ組
の合唱）



（優秀賞
1年Ｄ組
の合唱）

英語弁論大会で堂々の発表！ ～挑戦する姿が、仲間に勇気を与える～





本校3年生の隼平さん、2年生の咲奈さんの2名が、10月7日（水）に甲賀市で行われた、第80回高円宮杯全日本中学校英語弁論大会の滋賀県大会に出場しました。結果は、隼平さんが見事3位に入賞し、11月25日（水）から東京都内で開かれる中央大会への出場を果たしました。

県内5ブロックの予選を勝ち抜いた代表が集う中、これまで積み重ねてきた練習の成果を発揮し、二人ともが堂々と英語のスピーチを行いました。英語で自分の思いや考えを相手に伝えることは、簡単なことではありません。正確な発音や表現力はもちろん、伝えたい思いを自分の言葉にし、聞く人の心に届ける力が求められます。今回の隼平さん、咲奈さんの挑戦で、何より素晴らしいことは、大きな舞台に立ったという結果だけでなく、そこに至るまでの努力の積み重ねです。「挑戦することが自分を成長させる」双中生代表の二人の姿からこのことを学びました。

これからも双中生一人ひとりが、自分の可能性を信じ、さまざまなことに積極的に挑戦してほしいと思います。《学校教育目標『地の利』：強みをいかし》咲奈さん、よく頑張りました。隼平さん、中央大会での活躍を期待しています。

小学校の運動会を支える双中生





～地域に広がる温かなつながり～





10月10日（土）の息長小学校と10月31日（土）の坂田小学校の運動会に、双葉中学校の生徒たちが役員ボランティアとして参加しました。

かつて自分たちも小学生として参加していた運動会。今度は、運動会を支える立場となり、競技の準備や運営の補助など、それぞれの役割を担いました。

小学生の頑張る姿を見守りながら、運動会を支える中学生の姿に、頼もしさと成長を感じます。「支えられる側から、支える側へ」。こうした経験は、自分が誰かの役に立つ喜びを感じるとともに、地域の一員としての自覚を育む貴重な機会となりました。

小学校と中学校、そして地域がつながる温かな光景でした。ボランティアに参加された生徒の皆さん、お疲れ様でした。そして、ありがとうございました。

地域の一員として ～字別清掃活動への参加～





10月23日（金）、地域で行われた字別清掃活動に、本校の生徒たちが参加しました。

この活動は、自分たちが暮らす地域を自分たちの手できれいにしようとする取組です。生徒たちは、地域の方々とともに清掃活動に取り組み、身近な環境を大切にすることの意味を改めて考える機会となりました。

学校生活だけでなく、地域の一員として自分にできることを考え、行動することは、とても大切なことです。また、地域の方々との交流を通して、ふるさとへの愛着や感謝の気持ちを育むことにもつながります。

「自分たちの地域は、自分たちの手でよりよくする」。こうした思いをもち、地域のために行動できる生徒が増えていくことをうれしく思います。

これからも双葉中学校では、地域とのつながりを大切にしながら、地域に学び、地域に貢献できる生徒の育成に努めてまいります。

次号は、10月16日（金）開催された中体連秋季大会の各部活動の結果と、11月6日（金）に浅井運動公園で開催の第7ブロック駅伝大会、11月13日（金）に希望が丘文化公園で開催の県駅伝大会の結果等を掲載します。